

タイトル 後継者就農支援の取組み

JA名 JA下郷（大分県）

1 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> 当JAは酪農・畜産を営む組合員が多い、中山間地域にあります。地元・組合員密着を第一としサービス提供に努めてきました。 地域住民・組合員の高齢化が進み、農業従事者・農業生産高も減少傾向の中、組合員の子息の独立支援を行ったものです。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> 主に酪農業を営む組合員の子息が新規に畜産(繁殖)を行いたいとのニーズがあったことから、設備資金および雌牛の導入資金について相談がありました。 行政とも連携し「肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業」を活用し、農畜産業振興機構および大分県から設備資金の約2/3 雌牛導入資金の約1/2について補助金にて手当を実施しました。 設備資金の残り約1/3についてリース事業にて対応すると共に、雌牛の導入資金の補助算約1/2について、平成20年3月に「後継者就農資金」を新規に創設し資金対応を実施しました。
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者は順調に繁殖事業を営んでおり、30頭(平成20年3月時点)の雌牛導入から開始しましたが、現在は約50頭まで規模を拡大しています。また、別の子息についても新規に繁殖を開始すべく現在牛舎を建築中です。 組合員・農業者が減少する中、新規就農支援を行うことで管内の農業生産高減少の歯止めに貢献しました。
4 今後の予定(課題)	<ul style="list-style-type: none"> 当資金を活用し、他の新規就農者に対しても独立支援を実施する予定です。

